



なでしこ

合い言葉:人にやさしく 学び・かかわり きたえる子

「なでしこガーデン」が満開を迎えました ～ナデシコの花でいっぱいの学校～



「ナデシコ」の花の栽培を通して児童・保護者・地域のすべてが草津小学校を愛する気持ちを持つ取組を進めています

全校で協力して苗を育てます



湖南農業高校の皆さんにも協力してもらっています



草津小学校は知新学校として明治6年に開校し、149年の伝統を持つ市内でも最も古い学校として、地域の方から愛され大切にされている学校です。平成28年度からは、学校運営協議会を設けて、コミュニティスクールを基盤にした学校経営を進めています。

昔の校区は、田んぼや池に囲まれ、ナデシコなどの花も多くみられましたが、最近は開発が進み、実物がほとんどみられなくなりました。「校章になっているナデシコって何」と児童たちから質問を受けることも増えました。そこで校庭で10年以上前から放置されていた長さ約40メートルの花壇に注目、これをナデシコの花でいっぱいにして、新たなラウンドマークにしようというプロジェクトを学校運営協議会の発案でスタートしたのです。

ナデシコは土壌の状態の良い場所でしかきれいに咲かず栽培が難しいため、平成29年度は開花が一部しか確認できませんでした。そこで、近くの湖南農業高校に協力を依頼し、栽培方法を指導していただきました。また地域の環境ボランティアに土壌改良を助けていただき、冬までに1千株以上の苗を育てました。平成31年度には、3種類、約800本のナデシコが赤やピンクなど色とりどりの花をつけました。図画工作科の時間にナデシコの写生を行った児童は、「小さくてかわいく色がきれいですてき。いろいろな人の協力で咲いていて、今後も大事に育てたい。」と話していました。

ナデシコの苗を保護者や地域の方に配って、学区全体にナデシコの花を咲かせる取組も始まり、コミュニティスクールのかで校章ナデシコが子どもたちの誇りと共に復活しつつあります。

草津小学校には、学校のために尽力して下さる2つの大きなボランティア組織があります。一つは「環境ボランティア」、もう一つが「図書ボランティア」です。

- ①「前庭の100を超えるプランターに花を植えてくださる」
 - ②「1年生のさつまいも畑の整備をして、苗植えから収穫までを手伝ってくださる」
 - ③「5年生の田んぼの子で学習田を整備し、田植え、刈り入れ、脱穀まで手伝ってくださる」
- などなど、全て環境ボランティアの方々のご活動です。グラウンドにある40mの大花壇が『ナデシコの花』で一杯になったのも、環境ボランティアの皆さんが協力して土壌改良をして下さったおかげです。プランターの花の植え替えは3年生と一緒にしているのですが、子どもたちがわかりやすいようにと植え替えの手順を紙芝居風にまとめて提示して下さいます。

代表の戸高さんと岡さんにお話を伺った際、活動していて何よりも嬉しいのは、「子どもたちと一緒に活動できること」そして「子どもたちから感謝の言葉やお手紙をもらえること」とおっしゃいました。地域の方々に支えられ、美しい環境の中で学習活動が営めることを感謝したいと思います。

4月26日(月)の2時間目、5年生は体育館で環境ボランティアさんからお米の育て方についてのお話を聞きました。米作りについてのオリエンテーションです。おいしいお米を作るには、土を耕したり、水を調節したりすることなどの環境作りがとても大切であるということや、実際に田植えをするときは、稲の苗をどのように植えればいいのかなど、いろいろなことを細かく教えて下さいました。終わりに代表の児童からお礼の言葉がありました。

その後早速、環境ボランティアの方は土を耕し代掻きの準備をして下さいました。代掻きはまず、田んぼに水を張り丁寧に土をかき混ぜ土を細かく砕いていきます。それから表面を平らにならしていきます。代掻きを行うことで苗を植えやすくし、それと同時に田んぼ全体の苗をむらなく立てることができるようになるそうです。

そして、5月14日(木)の1, 2, 3時間目は田植えを行いました。子どもたちは田んぼのぬかるみに苦戦しながら、一本一本ていねいに苗を植えていきました。

米を作るためには、八十八の仕事が必要だと言われます。この学習を通じて、米作りの大変さや、農家の方々の並々ならぬ努力を学ぶとともに、今後の農業のあり方を考えられるようになってほしいと考えています。



避難訓練・・・全校

5月14日(金)3時間目に今年度最初の避難訓練を行いました。今回は、家庭科室から火事が出たという設定で、各教室からの避難経路の確認と避難する際に気を付けること(押さない、走らない、しゃべらない、もどらない)の確認を目的に実施しました。火事発生からの放送から運動場に全員が揃うまでに5分で集合できました。全員が集まった時の話を聞く態度も大変静かでした。このところ、新型コロナウイルス感染予防のために、全校で集まる機会がほとんどなかったのですが、やるべき時はきちんとできる児童の姿は素晴らしいと思いました。特に入学してから間もない1年生が、素早く整列し私語をすることなく話が聞けるようになっていたのには感動しました。全校が集まる良い機会でしたので、帽子を着用することと、廊下や階段を走らないようにすることを併せて指導しました。



よ〜い ドンパーティー・全校学習

4月30日(金)の2時間目は「よ〜い どん パーティー」(1年生を迎える会)でした。いつもなら体育館で全校児童集まって、1年生の入学をお祝いするセレモニー「1年生を迎える会」を行うのですが、今年度は感染拡大防止のため、集まらないでできる工夫をしました。

内容は各学級でそれぞれ、1年生に知ってもらいたいこと、教えてあげたいことを動画撮影で紹介します。「学校ではこんな楽しいことがあるよ」「こんな勉強があるよ」ということを考え、各学級で動画にとりました。リコーダーを紹介するクラス、iPadを使って勉強をする様子を紹介するクラス、学校の行事を紹介するクラスなど、みんな工夫の凝らした発表をしていました。1年生は真剣に画面に見入っていました。全校みんなで集まることはできませんでしたが、草津小学校のみんなが大歓迎していることが、1年生にしっかりと伝わる素敵な会になりました。



プール掃除・・・6年生



5月28日(金)、6年生がプールを掃除しました。一昨年から使っていないプールの水は濁り、プールサイドも汚れています。プールサイドの水路にも泥が積もり、タイルは汚れています。そんな状態のプールを、3組が1、2時間目、1組が3、4時間目、そして2組が5、6時間目を使って徹底的に掃除しました。感染予防に気を配りながら、ほうきとブラシを使ってプールをこすり、プールサイドのゴミを取り除き、水路の蓋やタイルを美しく磨きあげました。プール掃除が終わると、いよいよ水泳のシーズンがやってきます。感染予防と事故には十分注意をして、充実した学習をめざしていきます。

がっこうたんけん・・・1年生

5月14日(金)1,2時間目に1年生が「がっこうたんけん」を行いました。入学して1カ月が過ぎ、学校生活にもずいぶん慣れてきた1年生。学校にある様々な教室を見て回り、小学校での世界を広げていきます。今回、訪問した場所は放送室、校長室、職員室、理科室、家庭科室、図工室、図書室、音楽室、なでしこルームの計9か所です。部屋に入る際には「失礼します」とあいさつし「1年〇組の〇班です」としっかり自己紹介ができていました。校長室を訪問した際は、壁に掲げられた歴代校長先生の写真や、地域の方に寄贈していただいた機関車の模型に興味深々。飾られている4枚の鳥の写真(今年の卒業生が撮ったポートレート)には、「6年生でこんなに上手なんて、すごいね!」と感心しきりでした。訪問した教室でカードにスタンプをもらい、習い始めたひらがなを使って、がんばってメモをとっていました。すっかり小学生の顔つきになってきました。



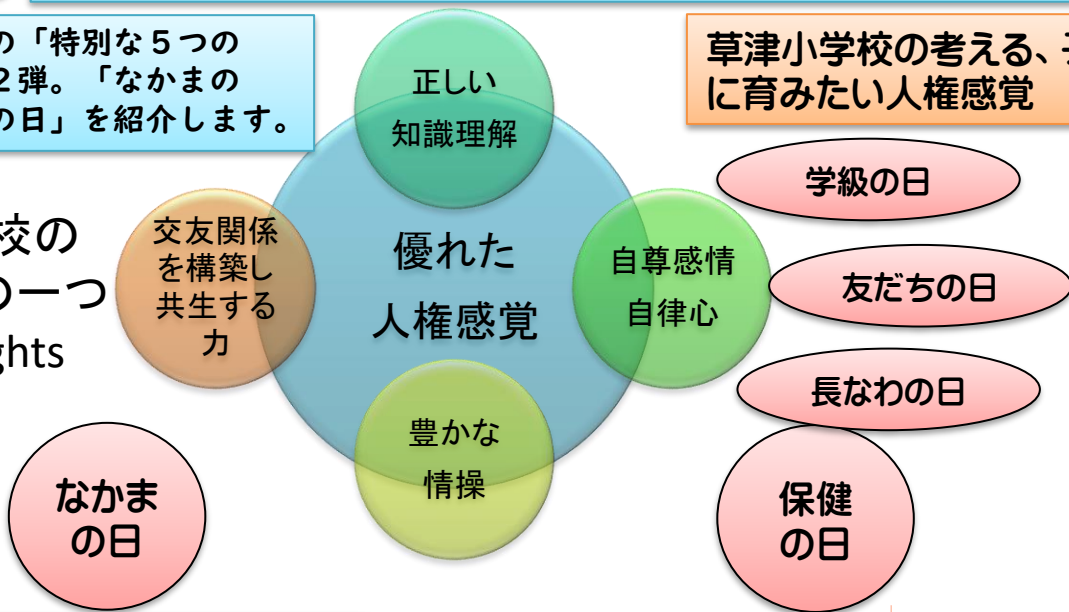
草津小学校の紹介

仲間づくりを進め、自尊感情を高める特別な5つの日 Special Five Days PART 2

草津小学校の「特別な5つの日」の紹介第2弾。「なかまの日」と「保健の日」を紹介します。

草津小学校の考える、子どもに育みたい人権感覚

草津小学校の5つの柱の一つ Human Rights



「なかまの日」は、月に一度、なかま委員会が企画して第3水曜日に実施する、異学年交流の取り組みです。上学年が下学年の友だちと関わることで、思いやりと優しさを身につけるとともに、下学年の児童は、上学年の姿に憧れを持ち、「上の学年になったらなりたい姿」をイメージとして持つことができるようになります。

こまめに
すこしずつ おちやきのもう！
やすみじかんになつたら
コップ1ばいのむ！



生活のリズムが
たいせつだよ！



早ね・早おき・朝ごはん

毎月第4月曜日の1時間目に、「保健の日」を設定しています。養護教諭が、パワーポイントを使ってタイムリーなテーマを全校児童に発信し、健康管理を進んで行く力の育成を狙っています。これは、児童の自立心を育むことにつながり、人権意識の醸成にも資するものととらえています。学習する内容を、電子黒板を使って視覚に訴えることで子どもたちの理解も進み、帽子の着用や水分補給、早寝早起きの習慣作りが進みました。

5月は「保健室の利用の仕方」、6月「体の半は水でできている（熱中症の予防）」、7月、8月「はやねはやおきて元気（生活のリズムを整えよう）」をテーマに学習する予定です。



教育相談週間について

5月17日（月）から教育相談週間が始まりました。まず、事前に学校生活に関するアンケートを行い、子どもたちの生活について把握します。そして、掃除の時間を短くして長く昼休みの時間をとり、一人一人の子どもと担任がじっくりと話をしました。新しい学級について、友だち関係や学習について、個々の子どもの思いが聴ける貴重な時間になっています。子どもたちの思いを今後の学級運営に生かしていきます。